

令和6年9月2日

東部農林水産振興センター雲南事務所農業部

標 題	美味しまね認証製品を使用した新作スイーツの発表会を開催しました
-----	---------------------------------

(ダイジェスト)

雲南地域GAP推進協議会では、令和6年8月23日（金）に雲南市役所にて「美味しまね認証製品を使用した新作スイーツ発表会」を開催しました。

発表会では、「美味しまね認証製品フェア」（第1弾：8月24日～25日、第2弾：8月30日～9月1日に開催）に先だち、地元和洋菓子店が開発した新作スイーツの披露に併せて、生産者と菓子店によるスイーツの説明、石飛市長による試食・求評を行いました。

雲南地域 GAP 推進協議会では、島根県が推進している美味しまね認証に取り組む生産者の応援と、美味しまね認証の認知度向上を目的とし「美味しまね認証製品フェア」の開催を企画しました。フェアに先だち、8月23日に「美味しまね認証製品を使用した新作スイーツ発表会」を雲南市役所で開き、21種類の新作スイーツを披露して、美味しまね認証製品をPRしました。

今回の新作スイーツは、今年のぶどうに加え、新たに鶏卵、山椒、美味しまね認証を取得したぶどうを一部使用した加工品（ぶどうジュースとワイン）等、雲南管内で生産された美味しまね認証等品を数多く使用しています。各菓子店は、新作スイーツ開発にあたり、島根県 GAP 生産者協議会のサポーター企業活動強化助成金を活用されました。

発表会では、各菓子店が、シャインマスカットのショートケーキ、鶏卵たっぷりのプリン、山椒を効かせたブリュレなどを紹介後、市長による試食が行われ、「見た目もきれいでおいしい」と笑顔でPRされました。また、雲南地域ぶどう研究会の池田会長は、「菓子店と生産者の匠の技をコラボさせて、去年をしのぐ新作スイーツができたので、多くの人に味わってほしい」と期待をよせられました。

当日は、多くの報道機関の取材を受け、美味しまね認証と雲南産美味しまね認証製品を広く紹介する場となりました。



写真1 石飛市長と生産者・菓子店責任者



写真2 新作スイーツ